

令和4年10月7日

宮城県知事 村井嘉浩殿

「住民との合意なき大規模風力発電計画から丸森の人々の暮らしと環境を守るための要望書」

すでに当会から R4 年 7 月 8 日付で要望書を提出させて頂いたように、現在、町内で進行中の（仮称）丸森風力発電事業（JRE 株式会社）、（仮称）丸森筆甫風力発電事業（HSE 株式会社）の 2 社合計 27 基の大規模風力発電計画には多くの問題があります。

丸森町民は 2011 年の東日本大震災と福島第一原発の事故、そして 2019 年の令和元年東日本台風による土砂災害と二つの未曾有の災害と災難に続けて苦しめられてきました。未だ台風災害の復旧すら終わらない町民にさらに土砂災害の危険を増大させ、低周波音や巨大風車の異様により日々の静穏な暮らしや環境を破壊し、苦痛を強いる大規模風力発電は問題が多すぎ、受け入れがたいものです。

また、町民が台風災害にもがき苦しむあいだもこれらの計画が着々と進められ、住民への周知も十分ではなく、一部には必要な住民説明会が行われないうまま進められてきたことに強い不信感を抱かざるを得ません。

一方、9月15日に開催された丸森町議会において私たちの提出した「大規模風力発電から丸森の人々の暮らしと環境を守るための請願書」が全会一致で採択されたことは大きな意味を持つものです。この中では「住民との合意がない限り絶対に事業をすすめることないよう当該2社に強く求める」ことが強く謳われております。この件につきましてはすでに丸森町議会からも意見書があがってきていると存じますが、当会からも重ねてお願いするところであります。また、丸森町長は保安林や県立自然公園への建設は反対の表明をしております。



よって以下の点につき、村井県知事におかれましても特段のご配慮と強い意見表明を頂けるよう、お願い申し上げます。

記

- 1.土砂災害の危険が増し、暮らしと環境を破壊する大規模風力発電計画について住民との合意がない限り、絶対に事業を進めることのないよう、当該2社に対し、強く、監視、指導をしてください。
- 2.宮城県からも経済産業大臣に対して「住民との合意がない限り当該2社に発電事業の許認可を与えないよう」強く要望して下さい。

※ 御多忙であることは承知しておりますが、この件につきましては出来るだけ早急に文書による回答を切望いたします。

※ 尚、この要望書および回答はSNS、HPなどで公開を予定しております。

要望者 丸森の未来を考える会
共同代表 菅野俊一  荒 正浩 
丸森町大内青葉南 62-1 Tel.080-5578-0328